

信頼と実績で
製品本体 **5年保証**



<https://www.phchd.com/jp/biomedical/about-phcbi/warranty>



器内乾熱滅菌モデル CO₂インキュベーター



165 L

手軽に使える11時間 180℃乾熱滅菌モデル

PHCbi の器内乾熱滅菌モデル、CO₂ インキュベーターは、「熱リーク」と「最大電流」の低減で、2段積みでも、1台乾熱滅菌・1台通常培養が可能。煩わしい滅菌前のセンサーの取外しや、滅菌後の温度・CO₂ ガス濃度の再校正も不要。

器内乾熱滅菌のニーズに対応したインキュベーターです

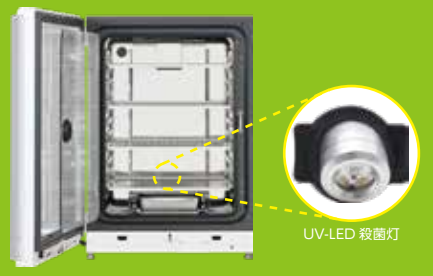
2段積みで乾熱滅菌と培養を同時進行 熱リークを低減

耐熱性に優れたシングルヒーターで、培養時は 5.4 A、乾熱滅菌時は 7.0 A で運転、「最大電流」を低減します。さらに、高い耐熱性と断熱性を持つグラスウールを断熱材に採用し、フレームの「熱リーク」を低減します。2段積み時でも 15 A 電源で、1台は乾熱滅菌、もう1台は通常培養が可能。ラボの限られたスペースでも安心して研究を遂行できます。



長寿命 UV-LED 殺菌灯

250 nm ~ 290 nm の光を発する、UV-LED を殺菌灯に採用。背面ダクト内に設置し、扉閉後、一定時間点灯加湿水を殺菌します。有害な水銀を含まず、従来の UV 灯と同等以上の殺菌効果を実現します。



UV-LED 殺菌灯

清掃性&収納効率 Up 内箱一棚受け一体構造

棚受け部分と内箱を一体化することで、少ない内装部品点数で、器内の清掃が簡単、スムーズ、作業性が向上。また1枚のトレイに、100φシャーレが20枚設置可能。高い清掃性と収納効率を実現しました。



●100 φシャーレ20枚収納

●内装部品点数5点



約11時間 180℃ 乾熱滅菌

器内温度の立ち上がり早く、温度分布のバラつきを低減した構造設計により、約11時間 180℃ の乾熱滅菌を可能にしました。

滅菌後の温度・CO₂ガス濃度の再校正も不要となり、滅菌後すぐに、通常培養を再開できます。



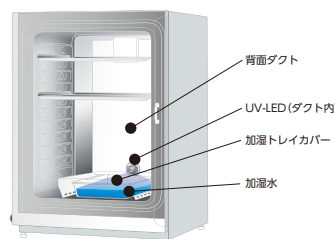
*乾熱滅菌時の器内レイアウト

	1日目	2日目
MCO-171AICUVD	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 11時間 180℃ 乾熱滅菌 11時間 11時間 11時間 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 培養 </div>

乾熱滅菌後 即 培養再開

殺菌灯交換作業の手間とランニングコストを低減

殺菌灯を長寿命の LED にすることで、製品の扉を1日30回開閉する使用条件下でも、殺菌灯の定期交換が不要になります。(故障の場合を除く) 殺菌灯は背面ダクト内に設置、加湿水へのみ照射。さらに加湿トレイカバーが培養エリアへのUV漏れを抑制するため、培養物へは影響がありません。



様々な機能の集中管理とユーザービリティ

7インチ WVGA フルカラー液晶タッチパネルは、さまざまなプロトコルを集中管理できます。パネル横には USB ポートを装備。USB メモリーへログデータを移行し PC で簡単に管理可能。



扉は開閉方向が選べるリバーシブルドア 扉ハンドルも握りやすい形状へ改善しました。



ファーマラボ EXPO PHCbi ブースへおこしください

日程：2024年6月26日(水)～28(金)

ご来場の登録はこちら[web招待券]から



会場：東京ビッグサイト

(PHC株式会社からの招待券として登録されます)

本チラシを持って、PHCbi ブースへおこし下さい！(東展示棟 7 ホール：ブースNo. 55-46)
商品をご覧頂いた方へ、お名刺と交換で[PHCbi グッズ]プレゼント！

ご来場
チェック

●個人情報の管理に関しましては、弊社ホームページをご覧ください。<https://www.phcd.com/jp/privacy/>(いただいた個人情報を元に、弊社担当営業より連絡や関係資料を送付させていただく場合があります)

■ 出展社セミナー

● ウイルスベクター製造用バイオリアクター scale-Xと

培地中のグルコース乳酸濃度を連続測定するライブセル代謝分析装置を紹介

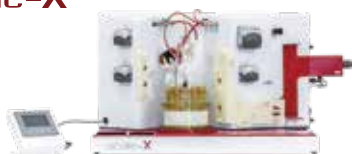
▶ 6月27日(木) 14:10～14:40



■ 展示内容 (予定)

● 遺伝子治療・ワクチン・ウイルスベクター・エクソソーム製造用バイオリアクター scale-X™ Carbo システム

scale-X™



- ▶ 接着細胞の大量培養が可能な fixed-bed バイオリアクターを搭載
- ▶ 構造的な fixed-bed バイオリアクターにより均一な細胞分布と培地の安定供給を実現
- ▶ ラボレベルから臨床用、商業製造までスケールアップ可能な製品ラインナップ
- ▶ 小フットプリントで高密度な細胞培養が可能なシステム



● ライブセル代謝分析装置 LiCellMo (参考出展)



LiCellMo

- ▶ 細胞代謝モニタリング：独自の In-Line センサーにより培地中のグルコースと乳酸を連続的に測定
- ▶ 解糖系を直接測定：グルコースと乳酸の濃度変化から解糖系の変化を直接的に分析
- ▶ いつもと同じ培養環境：CO₂ インキュベーター内・市販品 24 ウェルプレートで測定



● クラウドサーバー使用 リモートモニタリングシステム LabAlert PRO



- ▶ PC・スマホからお使いの機器をリモート管理
- ▶ 大掛かりな工事不要で運用開始が可能
- ▶ 1台だけのモニタリングから50台を超える大規模施設まで対応
- ▶ PHC製品(一部)なら別売のインターフェースボード取付けでデジタル接続でのモニタリングも可能



信頼と実績で
製品本体
5年保証

● ノンフロン 超低温フリーザー

VIP ECO SMART FrostLess



MDF-DU503VHS1

MDF-DU500ZHS1

- ▶ 自然冷媒(ノンフロン)とインバーター制御により高い省エネを実現
- ▶ 顔認証・パスワード・NFC認証で、ドアロック解錠(MDF-DU503VHS1)
- ▶ 真空断熱材入り内扉で、内扉表面の霜付きを低減(MDF-DU500ZHS1)
- ▶ 液晶タッチパネルコントロールパネルは、温度・警報・ドア開閉のログデータを保持
- ▶ 保持したログデータは、USBメモリーへデータ出力が可能
- ▶ 電源：単相 100V



信頼と実績で
製品本体
5年保証

●当社では製品の内容物の補償は出来ませんので予めご了承ください。

●本チラシ掲載商品の価格には、消費税・地方消費税・配送料・設置料・関連工事費などは含まれておりません。

●お問い合わせは

PHC株式会社

バイオメディカ事業部

〒105-8433

東京都港区西新橋3丁目7番1号

北海道営業所 TEL 03-4363-2211 FAX 011-251-3760
東北営業所 TEL 022-266-2131 FAX 022-215-5582
東京営業所 TEL 03-5408-7277 FAX 03-5408-0873
南関東営業所 TEL 045-978-5134 FAX 045-978-5150
中部営業所 TEL 052-211-8880 FAX 052-211-8882
近畿営業所 TEL 06-6136-1415 FAX 06-6136-1449
中国営業所 TEL 082-247-7532 FAX 082-240-2701
九州営業所 TEL 092-292-7719 FAX 092-291-5353

このチラシの記載内容は
2024年5月現在のものです。

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。●製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。
●実際の製品には、ご使用の注意を表示しているものがあります。